

目標達成計画

作成日：平成 30年 5月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	2階に4点柵している90歳、101歳の二人がいる。移動は車椅子で起き上がりや立ち上がりに介助が必要であるが、日中に興奮がある時は自力でベッド端座位になったり、床に降りて座り込み排尿されたりする。その時のみ夜間就寝時に4点柵としている。二人共に眠剤の使用も無く、向精神薬も服用していない安全面に問題があるとする時のみ使用している。	身体拘束であるベッド4点柵をできるだけ使用しなくてもよいようにする。	本人の状態を各勤務帯の職員全員で把握して興奮につながるきっかけが判明したらそのきっかけをなくし、興奮されないようにする。ベッド柵使用の頻度は101歳の方は3回/月、90歳の方は1回/月位。転倒、転落のリスクを十分に理解したうえでベッドしたにマットを敷くなどして外していく。超低床ベッドなどの検討し購入の依頼をする。	12ヶ月
2	35	災害対策についての近隣との関わりは薄い	災害時に互助できるような関係をつくる	地域との交流として夏祭りがある。行事を通して3年間継続している「非常食・介護食の展示」を今後も継続して啓発活動としたい。また、保育園もできたので多施設とも協力体制をとりたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。